

昭和55年度花壇管理状況

竹下 宏

昭和55年度は、大小花壇5回、その他花壇3～6回の植え替えを行い、30種67,900株の草花を植え付けた。以下、大花壇、小花壇を中心に植付図、植付実施表を示す。

所感

- (1) 本年度は、大花壇、小花壇ともそれぞれ2種の円を用いた模様を基本とした。
第5回のハボタンの植え付けでは、中央の円形部をやや高植えとし、立体感を持たせることに努めた(図2・4)。また、第2回のサルビアを用いた植え付けでは、マリーゴールドとの高低差で、立体感を持たせた(図1・3)。
- (2) 第1回の植え付けのベゴニアについては、緑葉種、銅葉種の2種を用いたが、緑葉では明るく、銅葉では暗いイメージとなった。花壇が大きいほど、周囲に対する色彩効果が大きいため、広い面積の花壇では、緑葉種を用いる必要があると思われる。
- (3) 第2回の植え付けでは、小花壇に初めてサ

ルビアのフェリナセア種を用いた。これは、普通のスプレンドゥス種にくらべ、花穂が細く、茎も比較的軟らかであるが、さわやかな青色で、夏の花としては捨てがたいものである。植え付けたものは、小苗時に摘心したので、花穂の数は多いが、頭が重くなり、降雨や強風で倒れ易かった。このため、フェリナセア種においては、小苗時の摘心は不必要であると思われる。このほか、第3回の大温室前花壇にトレニアを採用したが、暑さにも強く、霜が降りるまで、つぎつぎと花を咲かせて永持ちしたが、色彩が地味なため、広い花壇よりもフラワーポット等に向くと思われる。第5回ではハボタン(さんご種、丸葉種、ちりめん種)とノースポールを用いた。ハボタンの「さんご」は他の品種と比較し耐寒性が強く、寒さによる葉のいたみはほとんどなかった。ノースポールは、比較的寒さに強いものの、きびしい寒さが続くと葉や茎の先端部がかなりいたみ、見苦しいものとなった。これに対し、フラワーポットに植え付けたピオラ(ゴールデンカーペット)は耐寒性が強く冬の間も耐え間なく花を付け、花が少ない冬の花壇に有望と思われる。

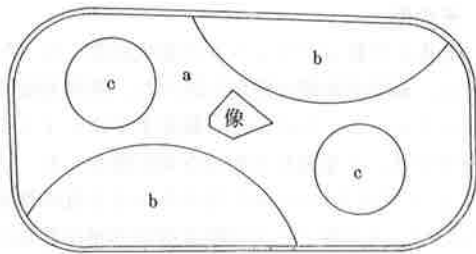


図1

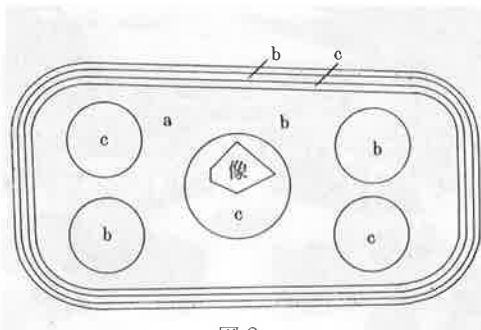


図2

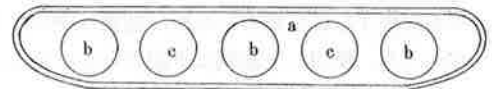


図3

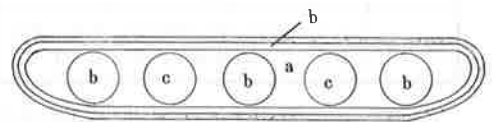


図4



昭和55年度花壇植物植栽状況

回	花壇名	植付図	植 物 名	位置	株 数	面 積	植付期日
1	大 花 壇	1	ベゴニア・センパフローレンス(白)	a	3,553株	99 m ²	昭和55年 5月2日
			" (桃)	b	2,092	58	
			" (赤)	c	907	25	
	小 花 壇	3	ベゴニア・センパフローレンス(桃)	a	1,328	37	
			バーベナ(赤)	b	488	14	
			" (白)	c	325	9	
大温室横花壇	—	フロックス(混合)	—	907	18		
		ベゴニア・センパフローレンス(桃)	—	824	23		
2	大 花 壇	1	フレンチ・マリーゴールド	a	2,468	99	7月11日
			アゲラタム	b	2,092	58	
			サルビア(赤)	c	630	25	
	小 花 壇	3	フレンチ・マリーゴールド	a	923	37	
			サルビア・ファリナセア(青)	b,c	565	23	
			テランセラ	—	1,122	23	
大温室横花壇	—	ニチニチソウ(桃)	—	333	9		
		" (白)	—	333	9		
3	大温室横花壇	—	トレニア (紫)	—	333	9	9月12日
			" (白)	—	333	9	
4	大 花 壇	1	ポットマム (黄)	a	1,579	99	10月24日
			" (桃)	b	930	58	
			" (赤)	c	403	25	
	小 花 壇	3	ポットマム (黄)	a	590	37	
			" (桃)	b	217	14	
			" (赤)	c	145	9	
5	大 花 壇	2	ノースポール	a	3,861	79	11月28日
			ハボタン(赤)	b	958	60	
			" (白)	c	693	43	
	小 花 壇	4	ノースポール	a	1,323	27	
			ハボタン(赤)	b	390	24	
			" (白)	c	145	9	
大温室横花壇	—	ノースポール	—	1,122	23		
		ハボタン(赤)	—	148	9		
大温室横花壇	—	" (白)	—	148	9		
		6	大 花 壇	1	パンジー(黄)	a	4,836
" (青)	b				2,847	58	
プリムラ(赤)	c				630	25	
小 花 壇	3		プリムラ(黄)	b	339	14	
			" (赤)	c	226	9	
			パンジー(青)	—	1,122	18	
大温室横花壇	—	ハナナ	—	296	23		